

今週（10月21日から10月25日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが強く、レートは高値圏で推移した。無担保コールO/N物の加重平均レートは、21日(月)から24日(木)まで0.227%で横這い推移となり、25日(金)も概ね同水準での取引となった。

ターム物に関しては、1W~2W程度で0.226~0.30%、1M~3M程度で0.30~0.35%で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、21日(月)に短国の償還超過や国債買入オペ要因により549兆円台半ばまで増加して始まった。その後はやや減少したものの大きな変動はなく、概ね548兆円台後半での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/Nは、週を通してオファーサイドの資金調達ニーズが安定的に見られたことから、レートは0.225~0.245%と、前週比横ばい圏での推移となった。

SCについては、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーン概ね横ばい圏での推移となった。

25日(金)に実施された3M物入札は、引き続き強い結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、小じっかりで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、鉄鋼、小売、建設などの銘柄で大型発行が実施された。

市場残高については、緩やかな増加傾向が続く中、24日時点で24兆円台後半での推移となっている。

発行レートについては、0.25%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/21 (月)	38,954.60	0.954	149.28	0.227	0.236	5,494,500
10/22 (火)	38,411.96	0.975	150.71	0.227	0.232	5,489,300
10/23 (水)	38,104.86	0.975	151.43	0.227	0.235	5,484,800
10/24 (木)	38,143.29	0.955	152.70	0.227	0.230	5,488,000
10/25 (金)	37,913.92	0.945	152.07	0.227	0.239	5,487,500

来週（10月28日から11月1日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
10/28 (月)			
10/29 (火)	月例経済報告(内閣府) 9月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 9月の一般職紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30)	2Y 26,000億円 11/1発行	8月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 10月の米CB消費者信頼感指数
10/30 (水)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00～) 10月の消費動向調査(内閣府 14:00)		7-9月期の米GDP速報値 7-9月期のユーロ圏GDP1次速報
10/31 (木)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 9月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 9月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 9月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)		9月の米個人所得・消費支出(PCE) 10月のシカゴPM景況感指数 10月のユーロ圏消費者物価指数速報値
11/1 (金)		TB3M 43,000億円 11/5発行	10月の米雇用統計 10月のISM製造業景況指数 9月の米建設支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/28 (月)	▲ 100	3,400	3,300	CP買入 社債買入 国債補完	▲ 700 ▲ 600 6,700		5,400	8,700	TB3M発行▲43,000 償還52,000
10/29 (火)	▲ 500	1,000	500				0	500	
10/30 (水)	▲ 400	1,800	1,400	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 6,600	
10/31 (木)	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 2,000	CP買入		4,000	4,000	2,000	
11/1 (金)	▲ 1,800	▲ 16,500	▲ 18,300				0	▲ 18,300	2Y発行△26,000償還17,600
週間合計	▲ 3,800	▲ 11,300	▲ 15,100	—	▲ 2,600	4,000	1,400	▲ 13,700	

10/28は日銀予想、10/29以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き0.227%近辺での資金調達ニーズが厚く見込まれる事から、レートは高値圏での推移が予想される。債券レボGC T/Nのレート水準は、月末を控え0.20～0.25%のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、11月1日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、28日(月)にCP等買入オペが4,000億円でオファー予定となっており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では29日(火)に9月の完全失業率・有効求人倍率、30日から31日に日銀金融政策決定会合・展望レポート、海外では、30日(水)に7-9月期の米GDP速報値、7-9月期のユーロ圏GDP1次速報、31日(木)に9月の米個人所得・消費支出(PCE)、10月のユーロ圏消費者物価指数速報値、11月1日(金)に10月の米雇用統計、10月のISM製造業景況指数などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。